



**2010 CIK-FIA  
ワールドカップ カートレース IN JAPAN**  
2010 CIK-FIA WORLD CUP KART RACE IN JAPAN

**2010年5月**  
**21日(金)**  
**22日(土)** **23日(日)** ファイナル

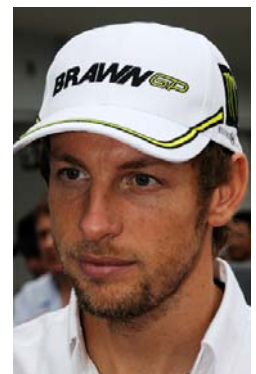
**鈴鹿サーキット 国際南コース(1周1.264km)で開催！！**

**J・バトン、L・ハミルトン、F・アロンソ**  
**F1チャンピオンたちの原点がワールドカップ カートレース！**  
**今年も世界の精鋭たちが鈴鹿サーキット国際南コースに結集する！！**

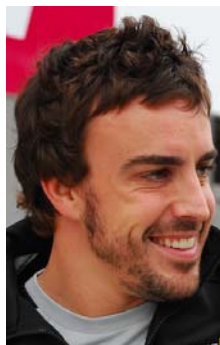
昨年念願のF1ドライバーズチャンピオンに輝いたジェンソン・バトン、その前年、2008年にタイトルを獲得したルイス・ハミルトン、05年、06年と連続チャンピオンに輝いたフェルナンド・アロンソ。世界最高峰レースのF1、そのF1の中でチャンピオンはほんの一握りの、選ばれしだけが手にできる栄冠。まさに世界中のレーシングドライバーの目標であり、憧れた。

そして頂点を極めた彼らの原点と呼べるのがCIK-FIAワールドカップ カートレース IN JAPANなのだ。バトンは1996年に来日し、FAクラス3位表彰台を獲得。ハミルトンはツインリンクもてぎで

行われた2000年のワールドカップ カートレースで見事優勝を飾っている。アロンソは1998年に参戦。残念ながらこの年は悪天候のために決勝ヒートは中止となったが、予選ヒートまではライバルの追従を許さない速さを見せつけ、そのまま頂点まで駆け上がり行った。他にも長年トヨタF1チームで活躍し、ジェンソン・バトン今年もロータスからF1に参戦しているヤルノ・トゥルーリも1994年、95年と2連覇。今シーズン、バトン、アロンソ、ハミルトンらとチャンピオン争いを繰り広げているメルセデスGPのニコ・ロズベルグも、2000年に参戦して活躍しているほどだ。



ルイス・ハミルトン



フェルナンド・アロンソ

※写真はいずれも2009年F1日本グランプリにて撮影

**ワールドカップ カートレースはゆうえんち入園料でご覧いただけます。(※各日とも1日のみ有効)**

料金(ゆうえんち入園料)		
大人 (中学生以上)	子供 (小学生)	幼児 (3歳～未就学児)
1,600円	800円	600円

[価格はすべて税込]

お車でお越しの方は、ゆうえんち駐車場に駐車いただき、無料シャトルバスをご利用ください。

【無料シャトルバス】

■運行区間:メインゲート⇄国際南コース

■運行日程:5月22日(土)7:00~18:30

23日(日)7:00~18:00

※約20分間隔で随時運行

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992

TEL(059)378-1111

URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

## 今年も精鋭たちが鈴鹿に結集！

### F1マクラーレンチームと契約したニック・デ・ブリース、昨年の全日本KF1チャンピオン清原章太、全日本KF2西地域チャンピオン小瀬翔也に注目！！



ニック・デ・ブリース

F1ドライバーたちのキャリアを見れば分かるように、鈴鹿南コースを制することは、そのままF1への第一歩を踏み出したことと同じ。それほどレベルの高いレースでもあるのだ。そして今年も日本はもちろんのこと世界中から若き精鋭たちが鈴鹿に結集する。

中でも注目したいのが若干14歳のオランダ人、ニック・デ・ブリースだ。昨年KF3のヨーロッパチャンピオンを獲得。その実力が評価されて今年、F1マクラーレンチームと契約。同チームのヤング・ドライバー・プログラムに組み込まれた逸材。F1チームの一員となった後の鈴鹿ランは、誰もが注目するところだ。

一方国内にも逸材はいる。2007年にヨーロッパを転戦、08年の鈴鹿カートシリーズのチャンピオンを獲得、2009年は全日本KF2西地域チャンピオンに輝いた16歳、現役高校生の小瀬翔也。同じく16歳、昨年全日本カート選手権KF1クラス、チャンピオンに輝いた清原章太だ。他にも今季SUPER GTのGT500クラスにコンドレーシングからGT-Rで参戦、開幕戦の鈴鹿ラウンド(3月21日決勝)で見事優勝を飾った安田裕信も参戦する。

はたして今年誰がF1へのファーストステップを記すのだろうか。世界中の熱い視線がこの一戦に注がれることになる。



清原章太(左)と小瀬翔也(右)

## F1テストドライバー山本左近も、フォーミュラ・ニッポンチャンピオン候補伊沢拓也もワールドカップ カートレースからステップアップ



山本左近

日本人選手も数多くがワールドカップ カートを経験してステップアップして行った。今年F1ヒスパニア・レーシングチームとテストドライバー契約を交わした山本左近も1999年、2000年に参戦している。さらには2007年、08年と2年連続フォーミュラ・ニッポン、チャンピオンに輝いた松田次生が1997年、98年に参戦しているのを始め、2003年から4年間アメリカ、インディカーシリーズで活躍し、今季はSUPER GTシリーズに参戦している松浦孝亮は1997年FAクラスに参戦して見事優勝を飾っている。今季フォーミュラ・ニッポンのチャンピオンを狙う伊沢拓也もワールドカップ カートレースを経験してその後のステップアップに勢いをつけた。



伊沢拓也



佐々木大樹

また昨年参戦し、メインのSKFクラスで、激しいトップ争いを展開し、日本人選手最高の7位フィニッシュを飾った佐々木大樹は今年全日本F3選手権のNクラスに参戦して活躍しているほど。彼らに続く日本の若き精鋭たちの活躍にも注目したい。

- 開催クラス : CIK-FIA WORLD CUP FOR SUPER KF & KF1 / CIK-FIA ASIA-PACIFIC KF2 CHAMPIONSHIP
- 同日開催 : FP-Jr
- オーガナイザー : 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)
- プロモーター : 株式会社 モビリティランド
- 公認 : 国際カート委員会(CIK) / 国際自動車連盟(FIA) / 社団法人 日本自動車連盟(JAF)
- 後援 : 鈴鹿市 / 鈴鹿商工会議所 / 鈴鹿市観光協会 / カートメーカーインポーター協会(KMIA) / 日本カートランド協会(JKLA) / 日本選手権オーガナイザー会(JKOA) / 一般社団法人SLカートのスポーツ機構(SLO)
- オフィシャルパートナー : CRG JAPAN / Sodi Racing Japan / TONY KART JAPAN CO.,LTD.

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

## WORLD CUP KART RACE IN JAPAN リザルト(トップ3)

年	コース	クラス	優勝	2位	3位
1991年	鈴鹿サーキット国際南コース	FK	D・クレバレス	D・ロッシ	李 好彦
		FA	D・スミス	金子 雄一	D・アンドレ
1992年	鈴鹿サーキット国際南コース	FK	D・ロッシ	M・リタプリス	C・ヘルベルグ
		FA	A・フェデモンテ	A・ベリッキ	道上 龍
1993年	鈴鹿サーキット国際南コース	FSA	N・ジャンニベルディ	G・フィジケラ	J・トゥルーリ
		FA	P・モロ	L・コーシオ	大脇 照男
1994年	鈴鹿サーキット国際南コース	FSA	J・トゥルーリ	A・マネッティ	N・マッジオ
		FA	L・カサーザ	D・フォレ	J・デグートゥ
1995年	鈴鹿サーキット国際南コース	FSA	J・トゥルーリ	松谷 隆郎	津田 浩次
		FA	D・ウェルドン	佐藤 雅洋	F・G・フラガス
1996年	鈴鹿サーキット国際南コース	FSA	M・オルシニ	C・バリストレリ	G・ベッジオ
		FA	M・パプロビック	G・バンターノ	J・バトン
1997年	鈴鹿サーキット国際南コース	FSA	佐野 和志	G・ベッジオ	李 好彦
		FA	松浦 孝亮	J・コートニー	R・アンティヌッチ
1998年	鈴鹿サーキット国際南コース	FSA	松谷 隆郎	G・バンターノ	C・バリストレリ
		FA	※豪雨のため決勝レース中止		
1999年	鈴鹿サーキット国際南コース	FSA	V・リウツツィ	E・ガンドルフィ	佐野 和志
		FA	J・ボンシェ	A・ドス・サントス	F・ベレラ
2000年	ツインリンクもてぎ 北ショートコース	FSA	D・フォレ	V・リウツツィ	C・バリストレリ
		FA	L・ハミルトン	C・ピッチオーネ	C・ブラウン
2006年	鈴鹿サーキット国際南コース	FA	A・コズリンスキー	J・ピアンキ	R・クリストヴール
2007年	鈴鹿サーキット国際南コース	KF1	M・アーディゴ	服部 竜也	G・キャッツ
2008年	鈴鹿サーキット国際南コース	KF1	D・フォレ	L・トマン	S・チェセッティ
2009年	鈴鹿サーキット国際南コース	SKF & KF1	Y・デ・ブラバンダー	M・ルノーディ	A・コズリンスキー